

費用便益分析の対象区間

広域ネットワークでの費用便益分析 <旭川・紋別自動車道 遠軽上湧別道路>

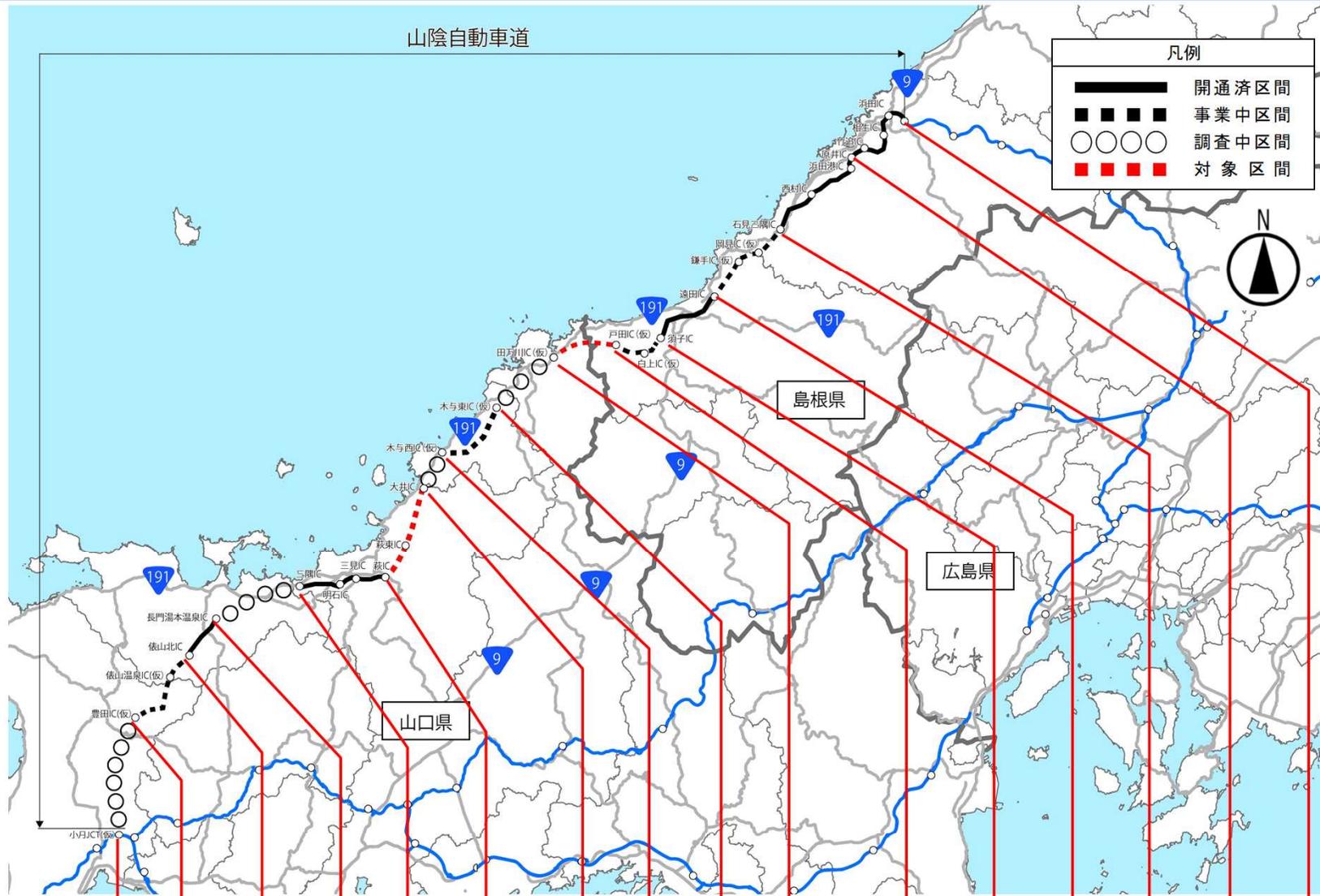


	開通済区間 L=9.3km 旭川愛別道路	開通済区間 L=17.4km 愛別上川道路	開通済区間 L=18.0km 上川上越道路	開通済区間 L=19.8km 上越白滝道路	開通済区間 L=16.0km 白滝丸瀬布道路	開通済区間 L=18.0km 丸瀬布遠軽道路	新規事業候補箇所 L=13.8km 遠軽上湧別道路	調査中区間 上湧別～紋別	B / C	EIRR
新規事業化 候補箇所							○		1.1	4.6%
JCT間※1							○		1.1	4.6%

○印 「事業を実施する場合」と「事業を実施しない場合」の比較対象

※1 基準年をR02として計算

広域ネットワークでの費用便益分析 <山陰自動車道 益田・田万川道路 大井・萩道路>



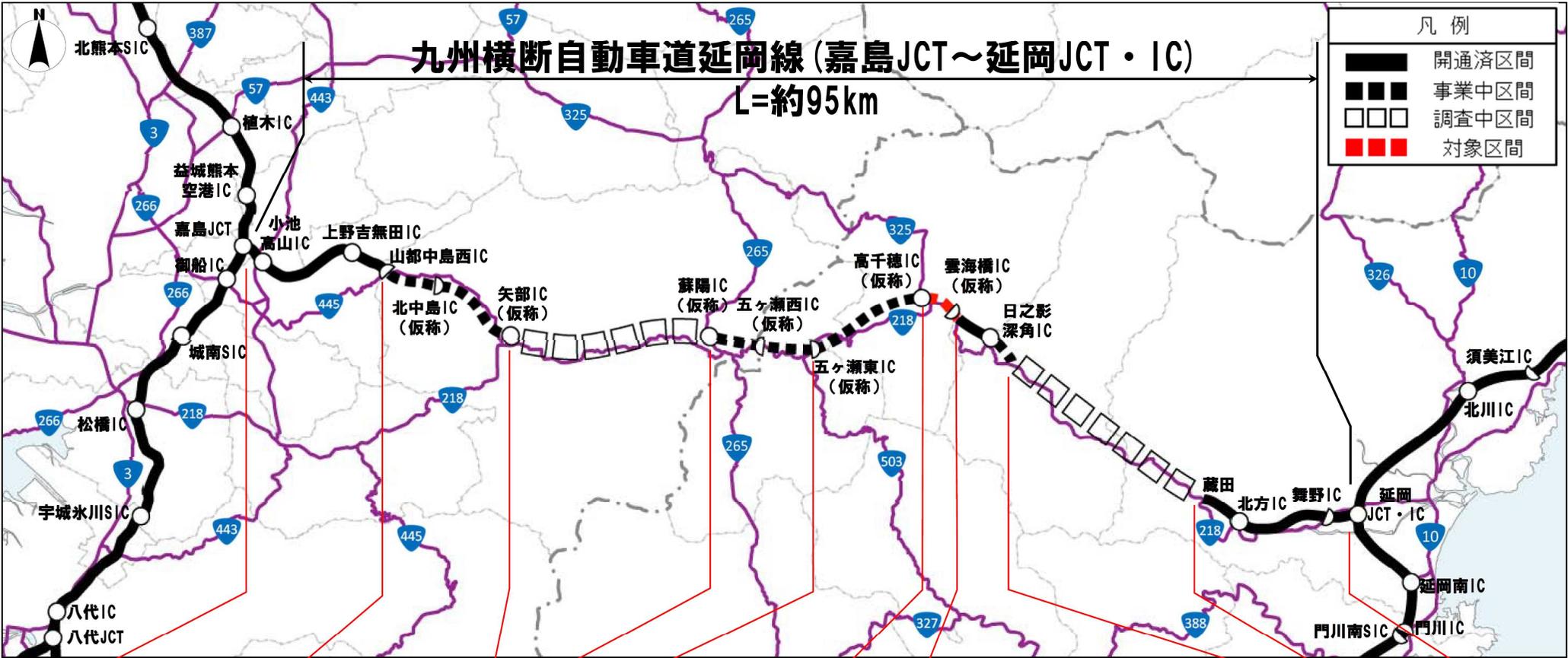
	調査中 (約16km)	事業中 L=13.9km (俵山・豊田 道路)	開通済区間 L=5.5km (長門・俵山 道路)	調査中 (約8km)	開通済区間 L=15.2km (萩・三隅 道路)	新規事業化 候補箇所 L=11.1km (大井・萩道路)	調査中 (約13km)	事業中 L=5.1km (木与防災)	調査中 (約24km)	新規事業化 候補箇所 L=7.1km (益田・田万川 道路)	事業中 L=9.1km (益田西道路)	開通済区間 L=7.8km (益田道路)	事業中 L=15.2km (三隅・益田 道路)	開通済区間 L=14.5km (浜田・三隅 道路)	開通済区間 L=7.7km (浜田道路)	B/C	EIRR	
新規事業化 候補箇所		※1				○		※1		○	※1		※1			益田・田万川道路	0.4	0.0%
																大井・萩道路	1.1	4.7%
																JCT間※2	1.3	5.9%

○印は「事業を実施する場合」と「事業を実施しない場合」の比較対象

※1：新規事業候補箇所のB/C等の算定にあたり、事業中区間は将来ネットワークを含む

※2：基準年をR2として計算

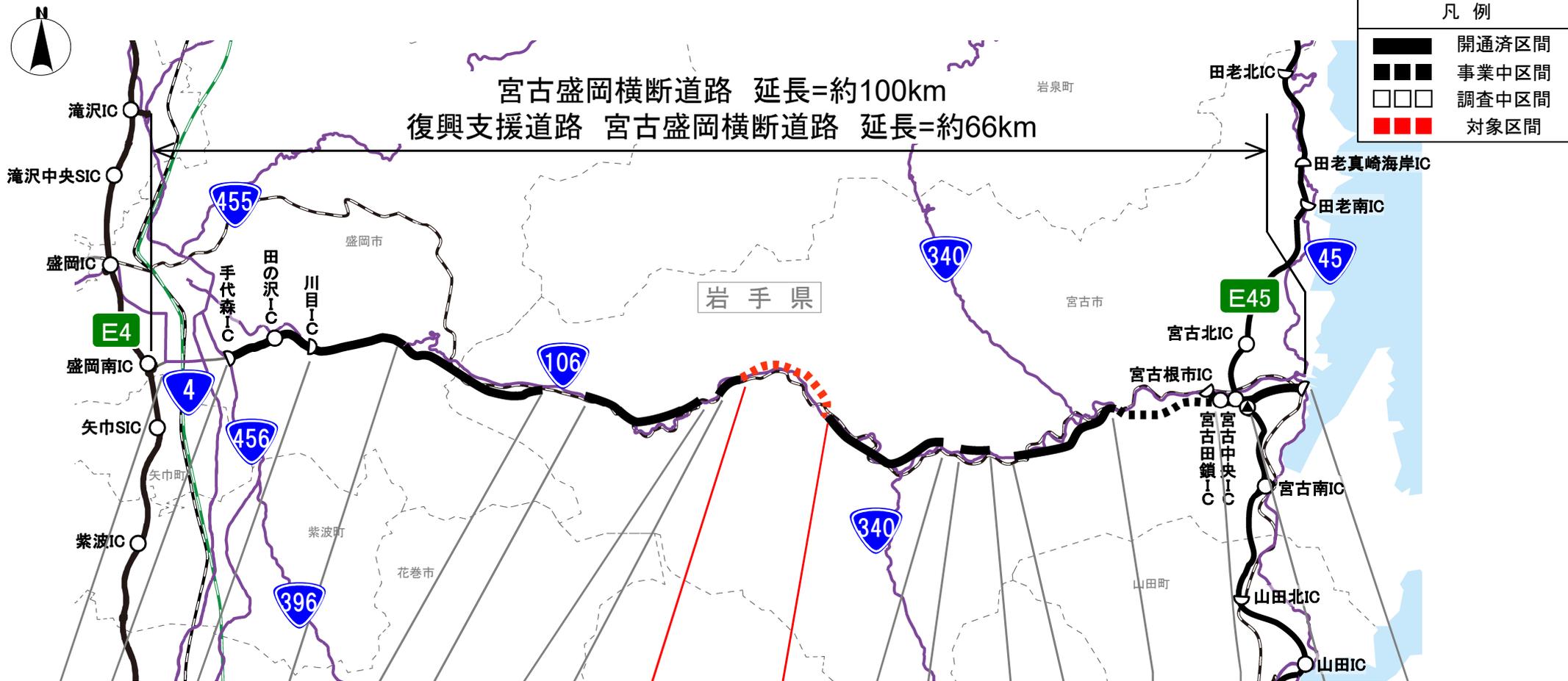
広域ネットワークでの費用便益分析 <九州横断自動車道延岡線 高千穂雲海橋道路>



	開通済区間 L=12.6km (九州横断自動車道延岡線 嘉島JCT~山都中島西IC)	事業中区間 L=10.4km (九州横断自動車道延岡線 山都中島西IC~矢部IC)	調査中 区間	事業中区間 L=7.9km (蘇陽五ヶ 瀬道路)	事業中区間 L=9.2km (五ヶ瀬高千穂道路)	新規事業 候補箇所 L=3.3km	開通済区間 (高千穂日之影道路) L=2.8km (高千穂町三田井~ 日之影深角IC)	事業中区間 (高千穂日之影道路) L=2.3km (日之影深角IC~ 日之影町大字七折)	調査中 区間	開通済区間 L=13.1km (北方延岡道路)	B/C	EIRR
	新規事業 候補箇所		※1		※1	※1	○		※1			1.2
JCT間※2		○		○	○	○		○			1.7	8.3%

○印は「事業を実施する場合」と「事業を実施しない場合」の比較対象
 ※1: 新規事業候補箇所のB/C等の算定にあたり、事業中区間は将来ネットワークに含む
 ※2: 基準年をR2として計算

広域ネットワークでの費用便益分析 <宮古盛岡横断道路 箱石達曽部道路>



宮古盛岡横断道路 延長=約100km
復興支援道路 宮古盛岡横断道路 延長=約66km

岩手県

凡例

- 開通済区間
- ▨ 事業中区間
- ▤ 調査中区間
- ▧ 対象区間

	現道活用区間	開通済区間 L=6.0km (都南川目道路)	開通済区間 L=6.7km (築川道路)	開通済区間 L=8.0km (区界道路)	現道活用区間	開通済区間 L=7.0km (平津戸松草道路)	現道活用区間	開通済区間 L=1.4km (達曽部道路)	新規事業候補箇所 L=9.7km (箱石達曽部道路)	開通済区間 L=7.0km (川井～箱石地区)	現道活用区間	開通済区間 L=2.0km (下川井地区)	現道活用区間	開通済区間 L=7.0km (礮目～腹帯地区)	事業中区間 L=7.2km (田鎖巻目道路)	開通済区間 L=3.3km (宮古西道路 岩手県施工区間)	開通済区間 L=4.0km (宮古西道路)	B/C	EIRR
新規事業化候補箇所									○						※1			0.8	2.8%
JCT間※2									○									1.2	4.8%

○印は「事業を実施する場合」と「事業を実施しない場合」の比較対象（全区間）

※1 新規事業候補区間のB/C等の算出にあたり、事業中区間は将来ネットワークに含める。

※2 基準年をR2として計算

広域ネットワークでの費用便益分析 <西知多道路>



	新規事業化候補箇所 L=1.6km (長浦IC～(仮)日長IC)	事業中区間 L=7.7km ((仮)日長IC～(仮)常滑JCT)	B/C	EIRR
新規事業化候補箇所	○	※ 1	2.6	11.1%
JCT間 ^{※ 2}	○	○	1.4	6.2%

○印は「事業を実施する場合」と「事業を実施しない場合」の比較対象
 ※ 1 : 新規事業化候補箇所のB/C等の算定にあたり、事業中区間は将来ネットワークに含む ※ 2 : 基準年をR2として計算

広域ネットワークでの費用便益分析 <熊本天草幹線道路 宇土三角道路>



	事業中区間 L=1.3km	調査中区間 L=2.8km (本渡道路)	調査中区間	開通済区間 L=13.3km (松島有料道路、 松島有明道路)	調査中区間	事業中区間 L=3.4km (大矢野道路)	開通済区間 L=3.7km (三角大矢野 道路)	新規事業 候補箇所 L=13.5km	事業中区間 L=6.7km (宇土道路)	事業中区間 L=3.8km (熊本宇土 道路)	調査中区間	B/C	EIRR
新規事業 候補箇所	※1					※1		○	※1	※1		1.1	4.6
一体評価 ※2	○					○		○	○	○		1.5	6.4

○印は「事業を実施する場合」と「事業を実施しない場合」の比較対象
 ※1: 新規事業候補箇所のB/C等の算定にあたり、事業中区間は将来ネットワークに含む
 ※2: 基準年をR2として計算